

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

様式2
(2023年度)

事業実績報告書

講座番号	C-11	講座名	受講者と共につくり、学びあう体験講座
記載日	2023/11/1	団体名・企業名	株式会社 山田組

〈講座全体の概要〉(300字程度)

当社は2005年のなごや環境大学開学以来、連続して共育講座を企画・開催してきました。初回を「都市農業の現場を訪れ収穫体験をする」、第2回を「都市の緑地の効用の一つである防災機能について現地で学ぶ」、第3回を「広域防災拠点で地域の防災イベントの実際を体験する」のテーマを設定しました。今年度はコロナウイルス感染拡大以降、久しぶりに全講座を開催することができました。



※写真1の説明

第1回講座 梅の収穫体験の様子

※写真2の説明

第3回講座 戸田川緑地での防災大会の様子
救命ブイを正確に投げ入れる競技中

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

今年度はコロナ禍明けで久しぶりに全講座を開催し、たくさんの参加者を迎えることができました。梅の収穫体験はとても人気で、防災協力農地について学びながら梅の収穫体験や梅ジュース作りをしました。皆さん梅ジュースができるのがとても楽しみな様子でした。広域防災拠点である戸田川緑地ではストローハウス体験と地域防災大会に参加するという講座を開催しました。地域防災大会では「たのしく・ためして・たしかめよう」をコンセプトに防災講話や防災パネル展示、交流ブース体験、防災五種競技などたのしく参加できるようなプログラムを開催しました。防災について楽しく学んでいただけてよかったですと思います。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

「梅の品種や防災のお話など初めて聞く内容で勉強になりました。」
「初めてのことばかりで楽しかったです。農園の方も優しくてほっとできる時間でした。」
「梅の説明も勉強になりましたし、梅がりから体験出来て楽しかったです。」
「ストローハウスを作るのが楽しかったです。」
「講演会で、当たり前のことを話を聞いてなるほどなるほどと再確認しました。とても良かったです。」